



議会だより

つなまもち

2016年1月20日発行

No.199

明けましておめでとうございます



貝坂除雪浪士隊のみなさん

11月臨時、12月定例会 12/16～18

議長新年のあいさつ、新しい議会構成…02
条例の制定・改正、人事……………03

一般質問 町政を問う……………04～09

平成28年度 建築要望事項……………10～11

町民登場 この人に会いました……………12

津南町議会

検索



町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

新年の挨拶

津南町議会議長 草津 進

町民に寄り添う議会に

新年明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私は、昨年の改選による11月の臨時議会で議長に就任いたしました。歴代の議長、議員が営々と築いてこられました津南町議会の伝統を守り、また時代の流れの中で住民ニーズに答えられるよう、時には改革も行い、町民の幸せを第一に考え精一杯任務を遂行していきます。よろしくお願ひ申し上げます。

さて町では、昨年の雪まつりにおける予想外の入込による混雑や、大地の芸術祭における入込客の増と着実に交流人口の増加が図られており、喜ばしいことです。また、インターネットによる情報発信や津南の天然水、津南町認証米など「津南町」というブランド化が徐々に図られており、これを利用して地場産業の振興が重要と考えます。

「津南はただの田舎じゃないのさ」「ぼくらが津南の未来をつくる」と津南町を大切に思う子どもたちの励ましの声を力強く感じながら津南町が抱える問題に積極的に取り組んでまいります。

議会では、町政進展のため真剣な議論を行っています。年4回の定例会時のインターネット中継、議会報発行や議会報告会を行っています。さらに皆様により身近な議会となるよう取り組んでまいります。

今年一年間、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



中山 弘

村山道明

風巻光明

吉野 徹

津端眞一

河田強一

半戸義昭

恩田 稔

石田タマエ

藤ノ木浩子

議長 草津 進

副議長 桑原 悠

栗原洋子

大平謙一

新しい議会構成

常任委員等の選任

総文福祉常任委員会

- 委員長 風巻 光明
- 副委員長 村山 道明
- 委員 石田タマエ
- 委員 河田 強一
- 委員 藤ノ木浩子
- 委員 桑原 悠

産業建設常任委員会

- 委員長 大平 謙一
- 副委員長 栗原 洋子
- 委員 半戸 義昭
- 委員 恩田 稔
- 委員 中山 弘
- 委員 津端 眞一
- 委員 吉野 徹

議会運営委員会

- 委員長 中山 弘
- 副委員長 石田タマエ
- 委員 村山 道明
- 委員 風巻 光明
- 委員 栗原 洋子
- 委員 大平 謙一

津南地域衛生施設組合議会議員

- 議員 恩田 稔

十日町地域広域事務組合議会議員

- 議員 村山 道明
- 議員 半戸 義昭

新潟県後期高齢者医療

- 議員 石田タマエ

平成27年10月25日執行の津南町議会議員一般選挙は、削減後の定数により14人が当選しました。11月13日第6回臨時議会が開かれ、正・副議長選挙、2常任委員、議会運営委員などの選任、一部事務組合等の議員選挙を行ないました。

初議会定例議会が12月16日から3日間開催され、1日目・2日目は一般質問10人、最終日は、教育委員・監査委員の同意、一部事務組合同約改正等が審議されました。平成27年度補正予算4件については、活発な議論がされ一般会計補正予算は賛成少数で否決。残り3件を可決し、選挙管理委員の選挙や議会広報特別委員会を設置採択し、定例会を閉会しました。

平成27年第7回臨時議会が12月28日開かれ、前回定例議会で否決された一般会計補正予算の修正後予算が審議され可決されました。

決まったこと

条例の制定・改正

津南町過疎地域自立促進計画の

変更

要旨 ニュー・グリーンピア津南

施設改修工事が追加されました。

賛成9、反対4 可決

津南町人事行政の運営等の状況

の公表に関する条例の一部を改正

する条例制定

要旨 人事評価制度の変更に伴い

改正するものです。

賛成12、反対1 可決

津南町行政手続における特定の

個人を識別するための番号の利用

等に関する法律に基づく個人番号

の利用及び特定個人情報提供に

関する条例の制定

要旨 行政のマイナンバー使用範

囲を定めるものです。

賛成11、反対2 可決

津南町税条例等の一部を改正する条例の制定

要旨 徴収猶予に係る分割納付等

の改正と紙巻きたばこ3級品の税率改正です。

率改正です。

賛成11、反対2 可決

津南町立保育所条例の一部を改正する条例の制定

要旨 休園中の外丸保育園の有効

利用を図るために行政財産から普通財産に変更するものです。

通財産に変更するものです。

全員賛成 可決

津南町簡易水道及び小規模水道

条例の一部を改正する条例の制定

要旨 6地区の小規模水道をまとめ、小規模地区簡易水道とするための改正です。

全員賛成 可決

財産の無償貸付

要旨 旧外丸保育園の土地・建物をNPO法人に5年間貸付けるものです。

のです。

賛成12、反対1 可決

津南町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙で次の8名が指名

推薦され、当選いたしました。

選挙管理委員 半戸 敬二氏

丸山 政友氏

高橋紀久郎氏

駒形 和貴氏

大口 博正氏

津南町教育委員会委員の任命
賛成多数 同意

宮沢 清氏

平成23年12月から

津南町教育委員会委員

津南町監査委員の選任
全員賛成 同意

吉野 徹氏

現津南町議会議員



津南町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙で次の8名が指名



推薦され、当選いたしました。

選挙管理委員 半戸 敬二氏

丸山 政友氏

高橋紀久郎氏

駒形 和貴氏

大口 博正氏

津南町同補充員

津端 厚子氏

涌井 隆夫氏

大塚与四次氏

氏

人事

町政を問う!!?

一般質問 (10議員)

① 風巻 光明 議員(④)

1. 森林整備補助制度の拡充を

② 中山 弘 議員(⑤)

1. 里山を守る対策はあるか
2. 臨時職員の待遇改善は
3. 中心街の青写真は

③ 半戸 義昭 議員(⑥)

1. TPP大筋合意による農産物への影響は
2. ますます高まる高齢化社会を迎えて

④ 栗原 洋子 議員(⑥)

1. 療養病床存続願う3658筆
2. オスプレイの飛行停止要望を

⑤ 大平 謙一 議員(⑥)

1. 人口減少問題の解決策は
2. 津南町認証米の面積拡大を
3. TPP大筋合意における町の対応策は
4. (株)津南高原開発の社長解任を問う

⑥ 藤ノ木 浩子 議員(⑦)

1. ニュー・グリーンピア津南対応の責任は

⑦ 石田 タマエ 議員(⑦)

1. 投票率低下の対策は
2. 要援護世帯の除雪支援の拡大を

⑧ 吉野 徹 議員(⑧)

1. 総合戦略での町関連施設の取り扱いを

⑨ 村山 道明 議員(⑧)

1. ふるさと納税への対応は
2. わかば保育園の統合は
3. TPP大筋合意に反対か

⑩ 桑原 悠 議員(⑨)

1. NGP問題について町長の真意を問う

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

津南町の森林整備補助制度の拡充を



風巻 光明 議員

森林整備はもっと加速すべき

問 津南町の66%が森林で貴重な資源を保有している。「森林の荒廃は町村消滅の一因となる」と言われているが、杉林だけ整備するにも150年以上かかる。もっと加速することが必要だ。現在の倍の50ha/年で整備することは可能だが次年度の町単の補助を倍増できるか。

町長 森林整備は受益者の手上げである。国県の補助の他に町で補助しており、受益者負担は、おおむね5%となっている。整備してほしい人などの位あるか事前調査を始めている。

森林環境税の創設を

問 「森林環境税」は県独自の課税制度で現在36の県が実施しているが、新潟県は未実

施だ。本税制度は森林整備にも充てられる。町もこの制度を積極的に国県に要請し、外部からの財源確保をすべきだが。

町長 私も県議時代積極的に活動した。税負担の問題や使途について色々あり、本県では具体化していない。県議会とも連携し訴えていきたい。

カーボンオフセット事業の促進を

問 津南町森林組合の「龍神の森プロジェクト」が、県のカーボンオフセット制度に認証され、4千3百tクレジット量を確保した。しかし現在、契約が低迷している。町として支援策はないのか。

町長 本制度は全国的に認知度が低いことや、理解されづらく現在進んでいない。今年COP21、195か国で歴史的合意に至り日本でも大幅なCO2削減目標を提出した。今後本事業が加速するものと思われる。町も他県知事や新潟市の店舗でもPRしており、今後も森林組合とともに力を惜しまず取組みたい。



未来に残せ、津南の美しい森林を

秋山郷集落の保存を問う



中山 弘 議員

問 限界集落とも言われる地域が点在している秋山郷は後継者不足で集落の危機である。田畑、里山を守る対策はあるか。

町長 少子高齢化による人口減少、後継者不足は全国的で集落に関わる大命題であり、一朝一夕には解決できない。貸農園宿泊施設には町外から入居いただき活性化している。また、中津地区振興協議会の設立準備も手伝っている。

問 苗場山麓ジオパークの一翼を担う古民家は年々少なくなり、空き家も増えている。利用保存の考えは。

町長 教育委員会では苗場山麓ジオパークの新たな展開を図るべく地域一体で推進し、地域振興に期待する。

里山を守る対策はあるか

教育長 個人の所有物であり保存要望がよせられた場合、歴史的、文化的価値を基準に検討する。

臨時職員の待遇改善は

問 臨時職員の待遇と今後の対策は。

町長 県、近隣市町村の状況を考慮して賃金単価を決めている。来年度に賃金アップを検討中で、待遇も近隣と比べて遜色ない水準である。

中心街の青写真は

問 大割野中心の空地有効利用構想や青写真は。

町長 旧農政局跡地は病院、文化センターへのアクセス道であり防災公園的な多目的利用を検討中である。



崩壊する古民家

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

TPP大筋合意による農産物への影響は

津南の農業を守るために今何をすべきか

問 農家が安心して農業に取り組むための町の農業対応策は。

町長 国、県は農家、農業を守るためにさまざまな対応、対策を推進するといっている。町としては全課長による対策本部を立ち上げ農家、農業を守るために国、県の今後の動向を見ながら対応していきたい。

問 津南産農産物のブランド力を高める対策は。

町長 津南産農産物は消費者から高い評価を受けているが、TPP大筋合意により今まで以上に厳しい産地間競争が予想される。津南で生産されている産物については津南産ブランドとして町の総合戦略に盛り込みながら情報発信による知名度

アップ、販売拡大などに取り組むことが重要と考える。

ますます高まる高齢化社会を迎えて

問 働く意欲のあるシルバー世代の労力の活用は。

町長 高齢者の方が就労の機会を持つことは生きがいと健康の増進につながるものと考え、働く意欲と能力を持った方が就労を通じて社会の支え手として活躍できるような支援が必要と考える。慰問活動、教育活動、ボランティア活動、生活支援活動など期待をしている。



期待されるシルバーの労力

町民署名をどうとらえているのか



桑原 洋子 議員

療養病床存続願う 3658筆

問 厚労省は療養病床を廃止して、有料老人ホームへの転換、在宅療養への推進を示している。

町長 津南病院の療養病床を、看護師不足を理由に来年4月から休床する方針だ。10月14日「看護師を確保し療養病床存続」「訪問看護ステーションや在宅医療の推進」等を求める3658筆の請願署名を町長に提出した。現在も続いており4千筆を超えている。このことをどうとらえているのか。

町長 署名については地元病院が大事、存続を願う強い気持ちの表れと思っている。魚沼基幹病院や新十日町病院などの動向を考えると、60床程度1病棟体制が妥当と判断した。

津南版CCRCとは何か

問 休床後のフロアに「医療が必要でなく福祉の施設に入居できない1人住まいで自活困難な人、元気なうちから入居し終身で過ごす生活共同体」を考えていると言うが町民には理解できない。真意をうかがう。

町長 都市部からの移住ではなく、津南の中で求める方々を受け入れる施設（津南版有料老人ホーム）を事務長に研究するよう指示している。

オスプレイの飛行停止要望を

問 津南町が訓練空域に含まれることがわかった。超低空訓練を行おうとしている。国に飛行停止の要望を。

町長 群馬、長野、新潟の上空も訓練区域候補地だが、従来からの設定空域で今回に限った訓練ではない。



オスプレイの超低空訓練予定区域

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

人口減少をくい止めるには



大平 謙一 議員

津南町の一番の課題は人口維持では

問 津南町の人口減少問題の解決策を伺う。

1、人口減少の原因は多々あるが待ったなしの問題である。次のことについて伺う。

①子育てへの支援、保育料や教育費の15歳までの無償化は。

②住宅費への支援は。

③仕事の斡旋。町が若者に企業の仕事内容をアピールすることは。

④婚活の支援は。

⑤若者に町や集落の継続、我が家の継続の大事さを教育することは。

2、町独自の人口対策の専門チームを作れないか伺う。

町長 保育費、教育費の無償化はそれなりの役に立つ。しかし費用が莫大で財源がない。子育て支援住宅やしあわ

せ♡応援隊など町は現在も行っている。専門チームは考えてない。

問 津南町認証米はこのままだと先細りになる。生産者が取組むことに特典が必要。認証米研究会を作り町が支援できないか。

町長 認証米の取組みは続ける。提案の研究会ができれば今後取組みなどを見極めて支援も考える。

問 TPP問題は津南農業に甚大な影響がある。対策は。

町長 中山間地農業にとって米、畜産は重要で政府の関連政策大綱を注視し町の対策本部を中心として対応していく。

問 津南高原開発新社長について、町が人事介入した。町が推薦した新社長は就任後わずか4か月で解任となったが、町として異論はないのか。

町長 新社長には第2リフト建設で冬季利益改善などリフト建設へ力を発揮していただいた。いささか残念だが株式会社の人事に対し人事介入できないと思っている。



子どもは宝

ニュー・グリーンピア津南対応の責任は

社長交代とリフト建設に不信

問 大規模町有施設に町長が代表として推薦した2人の方がわずか4か月で解任された。会社から「NO」を突き付けられたが、責任をどう感じているか。

町長 推薦したのは間違いないが、庁内会議など様々な打ち合わせを経て決めた。結果責任はいささかも逃れる考えはない。

問 リフトの改修・新設に関し、一部役員は「知らなかった」と述べ、臨時議会には突然3億6,490万円の工事が提案された。十分議論せず採択するやり方は許せないが。

町長 リフト修繕が課題である中、国の地域再生戦略事業としてはどうかと情報があり要望した。7月に交付決定と

なり説明を行った。その後会社と協議した。**問** リフト工事業の過疎対策債(1億9,480万円)が認められる見通しがついていないことなど想像もしてなかったが、起債にするためスキー場を行政財産にし、指定管理者導入しかないと報告され愕然とした。条件が整っていない事業を進め、出来上がってからの報告。誰の責任か。

町長 起債が認められるかどうかは、事業着手時、全くわからない案件だった。リフト架け替えて補助金をいただく、起債を認めていただくのは全国になかったろうと思う。

問 観光の中心であるニュー・グリーンピア津南に対する対応に町民は不信を抱いている。混乱させた責任をどうとるのか。

町長 とるべき責任があるとすれば逃れるつもりはない。



藤ノ木 浩子 議員



完成したクワットリフト

—Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

要援護世帯の除排雪支援の拡大を

投票率低下対策は

問 平成18年6月の津南町長選挙と平成27年10月の町議会議員選挙では10年足らずの間に8ポイントを超える投票率の低下を招いている。特に若者と80歳以上の年代の低下が著しい。現在その対策として3km以上距離のある地域には送迎などの便宜を図っているが、高齢者や足腰に不自由を感じておられる方々には2kmでも困難を要する。「投票所が遠くなっていきたくても行けない。」と言われている方々に対して距離に関わらず、町内全域で投票所の設置がされていない集落へは期日前投票期間の対策が必要だと考えるが、見解を問う。

町長 今後選管や明るい選挙推進協議会で、町内全域での期日前投票等の対策を検討していきたい。

要援護世帯の除雪支援拡大を

問 要援護世帯の除雪券利用の範囲が現行では屋根雪の処理と避難路確保に限られている。屋根雪同様に地面に落ちた硬い雪の処理は要援護対象者には苦痛であり、結局誰かに頼まざるを得ない。また、各世帯への侵入道路除雪は対象外となっているが、毎日のこととなるとボランティアだけを頼ってもいられない。除雪券の利用方法は各世帯や民生委員の判断にゆだねることはできないものか。また、誰がみても要援護世帯に準ずると思われる世帯も除雪支援対象とすることができないか見解を問う。

町長 公平性を保ちながら、落下式屋根だから対象外だということではなく、現状を一番理解している民生委員の判断を尊重し、町は、本当にお困りの方々への支援をしていく。



石田 タマエ 議員



屋根の雪は下ろしたけれど・・・

総合戦略での町関連施設の取扱いは



吉野 徹 議員

施設の維持管理は

問 毎年、修繕修復に多額な町費が注ぎ込まれている町関連施設（公設民営）は将来、町若人への負担が案じられる。

地方分権推進委員会、地方財政法の中での地方債区分で特別措置として、箱物整理に対する経費に対するものがあると思われる。

今期提出される地方版総合戦略での取扱いは。

町長 少子高齢化、若者の減少、町関連施設の町費負担は町の大きな課題であり、現在津南町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定中だ。4班集体制を進めている。

公共施設の管理については、27年・28年2か年で各施設の固定資産台帳の整理を進め、公共施設管理計画

を策定する。これらにより関係施設の縮小や解体また、施設修繕等の方向性を出すこととしている。



秋山郷拠点施設 萌木の里

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

ふるさと納税への対応は



村山 道明 議員

謝礼品は地元農産物を

問 現状の成果と今後の課題及び納税謝礼品の希望、特別栽培米認証米が多いと聞く。謝礼品を農業所得、産業振興に結びつけることが肝要と考えるが見解を伺う。

町長 10月からJTBに謝礼品カタログを新たに作成委託。今朝（17日）までに2,367件87,102,600円の申込みがあった。おおよそ半分近くが謝礼品となるが、希望される商品は米・酒・も

ち・肉など幅広い。謝礼品は全て町内事業者から仕入れてる。寄附額が増えることに期待する。

わかば保育園の統合は

問 平成29年度統合予定に向けて手順を踏むこととしている。当園は農業生産中核地域にあり、後継者も徐々に増え子育て拠点としての役割を担っている。統合廃合反対であるが今後の指針を伺う。

教育長 他地区では、保育園を統合するから小学校も統合と言う。当園統合と学校存続は上段地区で過去に論じられた経緯があるが、現状は専業農家・イターン農家が多い地域特色も検討課題であり、保護者や地域住民の思いを配慮した検討をしていく。

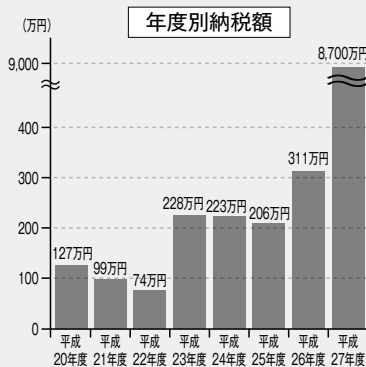
TPP大筋合意に反対か

問 共同通信社が全国市町村長へ問うたアンケート回答について伺う。

町長 賛成か反対かの問いには、「どちらかという」と反対。国会決議が遵守されたとは言えず、その整合性についても説明責任を果たしていない。



ふるさと納税謝礼品カタログ



NGP問題について町長の真意を問う

真意は

問 町はニュー・グリーンピア津南（以下NGP）に外部の2人を推薦することにより、一民間会社の経営に大きく一歩踏み込んだ。その真意を問う。

町長 以前より、当時の社長から自身の後任人事について相談があった。本施設は町民の財産なので、町も会社と共により良い経営のあり方を模索するなかで、役員として2人を推薦した。経営に立ち入ったということはない。

問 今後どのように町民の信を得ようと考えているか。

町長 結果責任があるかどうかについては、客観的に検証してほしい。町民から見てどうだったのか、聞かせてもらい、それを謙虚に受け止めたい。NGPの状況は、以前

より確実に強化されたと思う。

問 リフト架け替えの件、7月の経営陣交代の件、契約更新の件どれも拙速だった。議会と調整する機会があったはずだ。そういう意味で軽率だったのではないか。

町長 議会にできるだけ情報提供する姿勢は自負しているが、タイトなスケジュールで動いていたため、説明責任や事前の調整が不足していた。

副町長に責任を判断させるとは

問 報道によれば「副町長をトップに委員会を作るなりして責任を判断してほしい」とあるが、身内に責任を判断させると言った真意は。

町長 私自身が責任を判断しない方が良いという意味で、深い考えで言ったものではない。



桑原 悠 議員



注目のニュー・グリーンピア津南

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

平成27年第4回定例議会 主な補正予算

一般会計

補正額 1億6,258万円
(主な内容)

- ふるさと支援まちづくり基金積立金増
- ふるさと納税事務委託料増
- 国民健康保険特別会計繰出金増
- 介護保険特別会計繰出金増
- ニュー・グリーンピア津南運営支援基金積立金増

特別会計

国民健康保険特別会計

補正額 831万円

総額 13億3,892万円

(主な内容)

- 国県支出金・支払基金交付金精算償還金増

介護保険特別会計

補正額 6,364万円

総額 17億1,939万円

(主な内容)

- 介護サービス等給付費増
- 特定入所者介護サービス費増

全員賛成 可決

反対討論

桑原洋子 議員

NGP津南の一連の経過のなかで事実を伝えず一部の人間だけを進めてきた。議会軽視、町民軽視もはなはだしい。私たちは行政のチェック機関としてガラス張りの議会へと努力する。補正予算すべてに反対するものではなく、町長姿勢に対しての反対討論である。

賛成6、反対7 否決

平成27年第7回臨時議会

一般会計

補正額 1億3,258万円

- 12月定例会で上程否決された「ニュー・グリーンピア津南運営基金増」を除く補正案

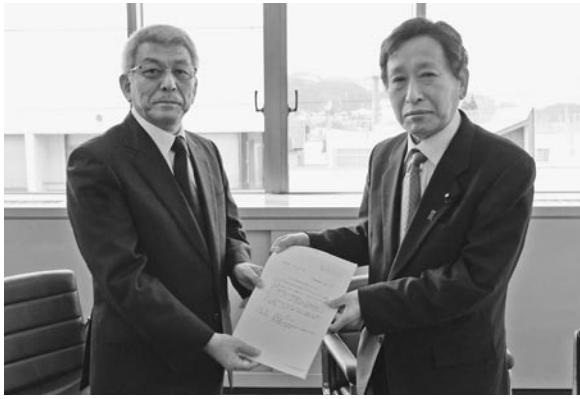
全員賛成 可決

建築要望提出

来年度の予算編成に向け、諸事業の要望書を町長に提出しました。

回答は、1月中を予定しています。

主なものは、次のとおりです。



(左から) 町長、議長

総文福祉 常任委員会

地方版総合戦略を基礎に健全かつ効率的な行財政の運用を。

【総務関係】

1. 臨時職員全体の賃金増額と更なる福利厚生の実現をはからりたい。
2. 交通安全対策に万全を期されたい。
- ① 保育園入口周辺の安全対策をはからりたい。ひまわり保育園先の交差点の点滅信号機化とこぼと保育園、北部保育園入口の国道信号を感知式に。
- ② 高齢者に対する交通安全指導の強化を。
3. 消防防災関係の実現をはからりたい。
- ① 特に小規模集落は、周辺地域と連携して行えるよう推進されたい。
- ② 集落消火栓設備への助成制度を新設されたい。

【福祉保健関係】

介護事業の充実を。

1. 特別養護老人ホーム入所待機者の解消をはからりたい。
2. 在宅介護における介護者の負担軽減をはからりたい。

3. 要援護世帯への除排雪範囲の拡充と人員確保のためのシステム構築をはからりたい。
4. 引きこもり対策に積極的に取り組まれたい。

【教育関係】 子育て教育関係

1. 未満児の受け入れに月齢を引き下げるべく努めていただきたい。
2. スクールバスの専用化をはからりたい。

文化財関係

1. 縄文体験館の導水については、防災、古代米の栽培、各種イベント体験学習について必要欠くことのできないことであり、早急な導水対策をはからりたい。



地区防災訓練（女性消防団）

【病院関係】 町民が安心して医療を受けられるよう津南病院の今後の方向づけを。

1. 地域医療の充実のため、津南病院の整形外科、外科、小児科の常勤医師の確保に努められたい。また県立十日町病院と魚沼基幹病院との連携をはからりたい。
2. 看護師をはじめ医療スタッフの確保に引き続き努力いただきたい。
3. 外来における診察室と中待合室の改修もしくは改善を図り、患者のプライバシー保護を図っていただきたい。
4. 地域連携室を設置し、医療・介護・福祉など、切れ目のないサービスができるよう体制づくりに努められたい。



ひまわり保育園増築部（2歳児の保育室増築）

産業建設 常任委員会

地域振興課関係

【農林関係】

① 苗場山麓開発事業における受益農家負担の軽減対策は、平成32年度まで経営安定対策基盤整備緊急支援事業が継続されるが、償還元金負担軽減についても国に強く働きかけられたい。

② 農林産物の生産拡大と津南町認証米制度の継続を図り流通販売対策とPR活動に積極的に取り組み、平成28年度は津南町認証米の全体量が減少にならないよう取組強化を図られたい。

③ TPP交渉では大筋合意がなされたが、今後も動向を注視し、重要5品目の関税撤廃反対を強く国に働きかけられたい。

【商工観光関係】

① 観光振興については、県並びに係市町村と連携する中で、既存施設とのネットワーク化を図り、観光協会、観光関連施設、団体とともに、更

なる誘客に努められたい。

② 雪国観光圏構成市町村と連携し、ジオパーク構想及び秋山郷の総合的な観光振興を推進されたい。

③ 小松原・苗場登山道の整備促進を図られたい。特に小松原の山小屋のトイレ設置と木道改修に関し、十日町市と再度協議されたい。

建設課関係

【国・県公共関係】

① 国道117号の整備促進に努められたい。(灰雨バイパスの早期着工)

② 信濃川及び中津川を含めた1級河川の危険堤防等について護岸対策を講じ、災害防止に万全を期すとともに、



灰雨バイパスの早期着工を

引続き釜掘川貝坂地内の整備を早急に進められたい。



巻下地区堤防嵩上げ整備の早期着工を

【町道関係】

中深見・堂平線の整備促進を引続き図られたい。

【住宅改修関係】

津南町住宅改修補助金交付制度は、町内の景気向上や経済効果を押上げ、大きな評価をいただいている。制度利用への住民要望が多いことから、初めての利用希望者を優先しながら、過去に交付を受けた者も5年以上経過したのち新たに補助対象とされたい。

表彰

感謝状 県町村議会議長会

県内の10町村議会からなる「県町村議会議長会」より、監事として会に貢献した河田議員に感謝状が贈られ、議場から拍手が湧きました。

◇河田 強一 議員





町民登場

この人に会いました・・・



え ぐち ま な み
江 口 真奈美さん(上段)

今回は役場商工観光班で働いている、「縁の下の力持ち」さんにお会いしました。

Q 津南町に住んだ理由は?

夫の仕事の都合によりこちらに住居を持ちました。お互い新潟市出身ですので、平野部とは異なる環境に戸惑いもありましたが、今ではお互いすっかりこちらの人や地域が気に入っています。

Q お気に入り?

私は食べることが大好きで、雪の恵みでしようか津南産はどれをとっても美味しく、食材そのものが新鮮で、たくさん手をかけなくても十分満足できる料理が作れます。

Q 最近の感動は?

「越冬」のための保存食を何気なくつくってお母さんたちを尊敬しています。そのやり方は代々受け継がれてきたものであり、「伝統ってこういうことをいうのだなあ」と実感することが度々あり雪国文化を感じます。

Q 観光案内で秋山郷に感じることは?

昨年ジオパークガイドの認定をいただき、ますます津南のことを知りました。悠久の津南町と縄文時代からの生活は驚きで、その素晴らしさを人々に伝えられたら、こんなに楽しいことはないと思っています。



中津川溪谷

津南町に移住し観光や自然を堪能している元氣いっぱいのジオパークガイドさんでした。

編集後記

Editor's postscript

明けましておめでとございませう。昨年、津南町60周年の節目でした。津南町議会議員の改選もあり、今号から編集委員は新たな6人で担当します。さらに町民に身近な「議会だより」となるよう気持ちを新たにしています。

委員を紹介します。

- 委員長 村山 道明
- 副委員長 石田タマエ
- 委員 半戸 義昭
- 恩田 稔
- 中山 弘
- 桑原 悠

議会だよりは私たちが担当します。



お問い合わせはお願いします。④